



平成31年1月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月27日

上場会社名 株式会社 タカショー

上場取引所 東

コード番号 7590 URL <http://takasho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高岡 伸夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部副本部長 (氏名) 井上 淳

TEL 073-482-4128

四半期報告書提出予定日 平成30年9月3日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年1月期第2四半期の連結業績(平成30年1月21日～平成30年7月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年1月期第2四半期	9,608	2.3	398	24.1	308	35.6	189	33.5
30年1月期第2四半期	9,396	0.7	525	9.1	478	517.1	284	1,684.9

(注) 包括利益 31年1月期第2四半期 146百万円 (49.1%) 30年1月期第2四半期 287百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年1月期第2四半期	15.19	
30年1月期第2四半期	23.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年1月期第2四半期	19,859	8,625	43.0
30年1月期	17,835	7,575	42.0

(参考) 自己資本 31年1月期第2四半期 8,539百万円 30年1月期 7,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年1月期		0.00		10.00	10.00
31年1月期		0.00			
31年1月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年1月期の連結業績予想(平成30年1月21日～平成31年1月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,490	5.7	457	24.8	436	23.7	273	19.6	18.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年1月期2Q	14,679,814 株	30年1月期	12,379,814 株
期末自己株式数	31年1月期2Q	101,485 株	30年1月期	101,425 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年1月期2Q	12,449,106 株	30年1月期2Q	12,278,452 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定されており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益および雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、依然として個人消費は力強さを欠くなど先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻くガーデニング業界におきましては、各種政策効果による下支えが続いたものの、新設住宅着工戸数は前年に比べ減少傾向になっており、さらに震災復興や東京オリンピック・パラリンピック開催の影響を受け、全国的に工事を行う作業員が不足していること等から依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中において、当社グループでは、庭は家での暮らしにおける5番目の部屋である「5th ROOM」(フイフスルーム)に基づき、庭からできる省エネ、節電、安全をテーマとした「SMART LIVING GARDEN」(スマートリビングガーデン)や家族が笑顔で健康になる庭をテーマとした「ガーデンセラピー」等、自然や季節を楽しむ心地良い庭での暮らしを目的とする新商品の拡充を図るとともにタカショー総合カタログPROEX(プロエクス)2018年版を平成30年2月1日に発刊するなど販売活動の強化を図りました。また、海外展開におきまして業績が不振であったTakasho Europe GmbHを解散すると同時に、イギリスに本社を置くVegTrug Limitedの子会社としてドイツにVegTrug Europe GmbHを設立することで、欧州地域においてベジトラグ・ブランド商品をベースとする園芸資材をホームセンターやガーデンセンターに展開を図るとともに、エバーアートウッドを中心としたエクステリア商品の展開を目的に当社EU支店を開設し、欧州地域における販売体制の再構築により売上拡大を図ってまいります。さらに、国際市場の拡大において、近年経済成長が堅調で有望な市場であるインド地域における展開を目的にTakasho Garden Living India Private Limitedを設立し売上拡大を図ってまいります。

国内の売上高につきまして、プロユース部門ではアルミ製人工木「エバーアートウッド」ならびに木、石、塗り壁、和風など様々な天然素材を再現したアルミ複合板「エバーアートボード」を用いた大型エクステリア商品等の販売が順調に推移いたしました。また、現場ですぐに取り付けられるエクステリアのパッケージ化も進め、現場に合わせて製造・提供できる『マスカスタマイゼーション』により現場の人手の解消や、建築作図の際にエクステリア&ガーデンのデザイン設計の出来るシステムも整い、住宅と庭の同時提案が出来る画期的なシステム開発にも注力いたしました。さらに、室内専用の「エバーアートボード」を発売し、建材としての販路拡大を図りました。ホームユース部門では梅雨明けの早期化により日除け商品の販売が拡大したこと等により売上高は前年同四半期と比べて増加いたしました。

海外の売上高につきましては、ホームユース部門における取扱商品の供給元を当社中国製造子会社に集約し原価コスト削減、生産性の向上を図るなか、販売子会社においてベジトラグ・ブランド商品の展開により大型ホームセンターとの新規口座開設や定番商品の投入等により売上高は前年同四半期と比べて増加いたしました。

販売管理費においては、会社の管理、生産性の強化を図るため、AIならびにRPA(ロボティクス・プロセス・オートメーション)の推進により競合他社との差別化と経費削減の強化を図ってまいります。

また、当社のさらなる企業価値向上を目的に、平成30年7月9日に、東京証券取引所市場第二部から、同取引所市場第一部銘柄に指定されました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,608,469千円(前年同四半期比2.3%増)と増収となりました。利益面では、為替変動による売上原価の上昇や、販売費及び一般管理費において販売力および生産量増加に向けた人材の採用や運賃の高騰の影響、さらにTakasho Europe GmbHの清算に伴う費用が一部発生したこと等により営業利益は398,743千円(前年同四半期比24.1%減)となりました。また、営業外費用において、為替変動リスクを回避すべく手段を講じたものの、為替差損を計上したことから、経常利益は308,563千円(前年同四半期比35.6%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は189,041千円(前年同四半期比33.5%減)となりました。

なお、平成30年3月5日に公表しました平成31年1月期第2四半期累計期間の業績予想との比較におきましては、売上高はほぼ計画通りに推移し、9,608,469千円(達成率96.1%)となりました。利益面におきましては、為替変動を受け原価率が上昇したものの、企画、製造、販売をグループ会社で一貫することで自社製品比率を高めるなどの施策が進んだことや海外販売子会社の粗利率が安定してきたことによる粗利率の改善、また販売費及び一般管理費においては、Takasho Europe GmbHの清算費用の確定が下期にずれ込んだこともあり計画を下回ったこと等から、営業利益は398,743千円(達成率166.1%)となりました。また、営業外費用において、為替変動リスクを回避すべく手段を講じたものの、為替差損を計上したことから、経常利益は308,563千円(達成率134.7%)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は189,041千円(達成率155.0%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は19,859,166千円(前連結会計年度末と比べ2,023,927千円増)となりました。

流動資産においては、公募増資により現預金が3,656,296千円(前連結会計年度末と比べ1,068,690千円増)、また売上高の増加に伴い受取手形及び売掛金が3,056,308千円(前連結会計年度末と比べ598,794千円増)となりました。

固定資産においては、中国製造子会社の工場増築、国内製造子会社の工場増築、またIT関連でハードウェアの再構築等が進んだことで建設仮勘定が258,301千円(前連結会計年度末と比べ173,697千円増)、無形固定資産は減価償却が進んだことから360,767千円(前連結会計年度末と比べ31,657千円減)となりました。

流動負債においては、売上高が順調に推移したことから仕入高が増加し支払手形及び買掛金が3,949,904千円(前連結会計年度末と比べ695,723千円増)、海外販社の売上増加に伴う運転資金需要の増加、中国における輸出還付税の遅延等の影響を受け、短期借入金が5,010,593千円(前連結会計年度末と比べ402,450千円増)、1年内返済予定の長期借入金が238,044千円(前連結会計年度末と比べ68,230千円減)となりました。

固定負債においては、借入金の返済が進んだことにより長期借入金が321,816千円(前連結会計年度末と比べ119,915千円減)となりました。

純資産においては、公募増資により資本金および資本準備金の増加、利益剰余金の増加等により8,625,554千円(前連結会計年度末と比べ1,049,826千円増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成30年3月5日に発表いたしました業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年1月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年7月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,587,605	3,656,296
受取手形及び売掛金	2,457,513	3,056,308
電子記録債権	494,259	570,398
商品及び製品	3,618,506	3,763,084
仕掛品	280,039	275,471
原材料及び貯蔵品	997,659	1,011,711
繰延税金資産	203,491	207,356
その他	945,328	1,112,354
貸倒引当金	△130,897	△130,373
流動資産合計	11,453,506	13,522,609
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,207,226	3,082,981
土地	973,182	993,311
建設仮勘定	84,603	258,301
その他(純額)	534,379	565,624
有形固定資産合計	4,799,392	4,900,218
無形固定資産		
のれん	1,078	839
その他	391,346	359,928
無形固定資産合計	392,425	360,767
投資その他の資産		
投資有価証券	208,445	185,893
繰延税金資産	2,579	4,291
その他	1,002,631	908,690
貸倒引当金	△23,742	△23,303
投資その他の資産合計	1,189,914	1,075,571
固定資産合計	6,381,732	6,336,557
資産合計	17,835,238	19,859,166

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年1月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年7月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,254,180	3,949,904
短期借入金	4,608,142	5,010,593
1年内返済予定の長期借入金	306,274	238,044
未払法人税等	123,729	151,450
賞与引当金	64,688	65,884
その他	1,102,702	1,145,109
流動負債合計	9,459,717	10,560,985
固定負債		
長期借入金	441,732	321,816
退職給付に係る負債	3,260	4,186
資産除去債務	165,948	167,154
その他	188,852	179,468
固定負債合計	799,793	672,626
負債合計	10,259,510	11,233,612
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,307,776	1,820,860
資本剰余金	1,348,930	1,862,014
利益剰余金	4,347,305	4,413,563
自己株式	△26,500	△26,529
株主資本合計	6,977,511	8,069,909
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90,611	74,826
繰延ヘッジ損益	△12,974	45,987
為替換算調整勘定	381,654	288,704
退職給付に係る調整累計額	50,699	60,228
その他の包括利益累計額合計	509,991	469,746
非支配株主持分	88,224	85,898
純資産合計	7,575,727	8,625,554
負債純資産合計	17,835,238	19,859,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月21日 至平成29年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月21日 至平成30年7月20日)
売上高	9,396,510	9,608,469
売上原価	5,212,060	5,453,792
売上総利益	4,184,449	4,154,677
販売費及び一般管理費	3,659,084	3,755,934
営業利益	525,365	398,743
営業外収益		
受取利息	2,624	3,269
受取配当金	1,019	1,220
受取手数料	22,641	21,044
その他	15,383	18,615
営業外収益合計	41,668	44,150
営業外費用		
支払利息	23,909	41,681
為替差損	35,510	54,431
コミットメントフィー	5,786	4,543
その他	22,957	33,673
営業外費用合計	88,164	134,329
経常利益	478,868	308,563
特別利益		
固定資産売却益	-	25
特別利益合計	-	25
特別損失		
固定資産売却損	1,223	-
固定資産除却損	1,066	617
減損損失	1,643	912
特別損失合計	3,934	1,530
税金等調整前四半期純利益	474,934	307,058
法人税、住民税及び事業税	160,775	153,918
法人税等調整額	27,439	△36,821
法人税等合計	188,215	117,097
四半期純利益	286,719	189,961
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,643	919
親会社株主に帰属する四半期純利益	284,075	189,041

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月21日 至平成29年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月21日 至平成30年7月20日)
四半期純利益	286,719	189,961
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,299	△15,785
繰延ヘッジ損益	△112,240	58,962
為替換算調整勘定	43,916	△96,196
退職給付に係る調整額	47,105	9,529
その他の包括利益合計	1,081	△43,490
四半期包括利益	287,800	146,470
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	286,495	148,797
非支配株主に係る四半期包括利益	1,304	△2,326

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月21日 至平成29年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月21日 至平成30年7月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	474,934	307,058
減価償却費	252,907	265,581
のれん償却額	23,877	239
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,102	△698
賞与引当金の増減額(△は減少)	△409	1,196
受取利息及び受取配当金	△3,643	△4,490
支払利息	23,909	41,681
為替差損益(△は益)	32,405	494
有形固定資産売却損益(△は益)	1,223	△25
固定資産除却損	1,066	617
減損損失	1,643	912
売上債権の増減額(△は増加)	△484,629	△690,839
たな卸資産の増減額(△は増加)	△19,452	△183,974
その他の資産の増減額(△は増加)	△309,510	△94,357
仕入債務の増減額(△は減少)	1,103,668	725,247
その他の負債の増減額(△は減少)	244,881	51,441
未払消費税等の増減額(△は減少)	△49,519	27,372
その他	-	4,687
小計	1,295,455	452,146
利息及び配当金の受取額	3,643	4,490
利息の支払額	△24,121	△42,409
法人税等の支払額	△237,903	△126,198
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,037,074	288,029
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△318,409	△277,505
無形固定資産の取得による支出	△20,251	△56,688
投資有価証券の取得による支出	△145	△147
その他	15,667	23,381
投資活動によるキャッシュ・フロー	△323,139	△310,960
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	9,891,450	11,107,170
短期借入金の返済による支出	△10,100,000	△10,685,269
長期借入れによる収入	100,000	-
長期借入金の返済による支出	△366,523	△187,795
株式の発行による収入	-	1,026,168
配当金の支払額	△73,670	△122,783
その他	△13,503	△18,940
財務活動によるキャッシュ・フロー	△562,247	1,118,548
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,849	△26,926
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	157,537	1,068,690
現金及び現金同等物の期首残高	2,129,757	2,587,605
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,287,295	3,656,296

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年7月6日を払込期日とする公募による新株式発行、平成30年7月18日を払込期日とする大和証券株式会社を割当先としたオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当による新株式発行を行いました。その結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が513,084千円、資本準備金が513,084千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,820,860千円、資本剰余金が1,862,014千円となっております。